

一般社団法人 日本地質学会

関東支部総会

2014年度 活動報告

2015年4月18日（土）

2014年度の総括

- 1) 幹事会の企画力、担当幹事の実行力がさらに強化された
- 2) 2016年LOCが発足、上記テーマに向けて大きく前進した。
- 3) 次年度計画の立案作業が前進した。
大会テーマ「ジオハザードと都市地質」
- 4) 組織建設：若手における会員拡大。
教員やジオパークとの連携に向け活発に活動した。
県の石に関連して各地方博物館と連携した。

関東支部幹事会 (1回/月程度)

- ◆ 4/19 第1回幹事会(支部長選出) 総会
- ◆ 5/07 第2回 幹事会(緊急学習会・年度計画)
- ◆ 6/11 第3回 幹事会(富士山巡検他)
- ◆ 7/23 第4回 幹事会(フィールドキャンプ他)
- ◆ 9/29 第5回 幹事会(地滑りショートコース他)
- ◆ 11/04 第6回 幹事会(2016年大会他)
- ◆ 12/01 第7回 幹事会(県の石他)
- ◆ 01/19 第8回 幹事会(教育サミット他)
- ◆ 02/16 第9回 幹事会(支部功労賞他)
- ◆ 03/19 第10回 幹事会(総会準備他)
- ◆ 04/08 第11回 幹事会(次年度計画他)

2014年度活動

- × 1. 地質技術伝承講演会(2014年4月19日, 会場:北とぴあ)
- × 「切土のり面にまつわる話(長期追跡調査、樹林化など)」(講師:佐藤尚弘, 明治コンサルタント(株)取締役技術統括部長), 共催:関東地質調査業協会, 参加者:63名
- × 2. 地質見学会
- × 第5回ミニ巡検 伊豆(2014年11月8-9日), 参加者10名, 案内者:狩野謙一(静岡大), 伊藤谷生(帝京平成大), 鈴木雄介(伊豆半島ジオパーク)
- × 教師巡検 5億年前と10万年前の茨城を観る(2014年8月20-21日), 参加者:10名, 案内者:荒川真司(清真学園)・田切美智雄(日立市郷土館)
- × 富士山巡検 富士山北麓周辺(2014年10月3-4日), 参加者:31名, 案内者:高田 亮(産総研), 吉本充宏(山梨県富士山科学研究所)千葉達朗・荒井健一(アジア航測(株))
- × 3. 緊急学習会
- × 福島第一原子力発電所汚染水処理問題収束のために地質学は何をなさねばならないか, 日大文理学部(2014年5月17日), 参加者73人, 講師:山元孝広(産総研)・丸井敦尚(産総研)・柴崎直明(福島大)・楊 宗興(東京農工大)

× 3. ショートコース

- × 地すべり破砕帯の構造地質学, 帝京平成大中野キャンパス(2014年10月18日), 参加者100人, 講師:金川 久一(千葉大)・氏家恒太郎(筑波大)・柴崎達也(国土防災技術株/京大防災研)・眞弓孝之先生(国土防災技術株)

× 4. シンポジウム

- × 地学教育サミット「ジオパークと教育」小田原市生涯学習センター(2015年3月15日), 参加者93名, 講師:高橋雅紀(産総研)・高木秀雄(早稲田大)・田切美智雄(日立市郷土館)・茨城県北ジオパーク天野一男(茨城大)・下仁田ジオパーク関谷友彦(下仁田ジオパーク推進協議会)・伊豆半島ジオパーク富川友秀(静岡県立松崎高校)・伊豆大島ジオパーク中林利郎(伊豆大島ジオパーク推進委員会)・銚子ジオパーク山田雅仁(銚子ジオパーク推進協議会)・秩父まるとジオパーク小幡喜一(埼玉県立熊谷高校)・箱根ジオパーク山口珠美(箱根ジオミュージアム)

× 5. フィールドキャンプ

- × 千葉県鴨川市清澄東大演習林(2014年8月25-31日), 参加者学生6名

-
- × 6. 2016年大会準備
 - × 大会委員決定
 - × 鹿児島大会LOC打合せ(2014年9月14日)
 - × 7. 支部活動
 - × ・支部総会(4月18日, 会場:北とぴあ):活動報告, 会計報告, 活動計画, 予算案
 - × ・支部功労賞授与(2団体):横須賀市自然・人文博物館, 千葉達朗
 - × ・幹事会:11回開催(1回/月程度)
 - × ・後援 秩父ジオパークジオツアー
 - × (2014年5月17日、7月26日、8月3日、11月9日)
 - × ・協力 本会街中ジオ散歩「下町低地の地盤沈下と水とくらし」
地質調査研修会秋季

地質技術伝承会・総会

2014/4/19



講師：佐藤尚弘，
明治コンサルタント(株)取締役技術統括部長

会場：北とぴあ



緊急学習会(福島第一原子力発電所汚染水処理問題収束のために地質学は何をなさねばならないか)

2014/5/17



会場：日大文理

茨城県 教師向け巡検

- × 1 日時 平成26年8月20日～8月21日
- 2 場所 茨城県
- × 3 案内 荒川真司氏(清真学園)・田切美智雄氏(日立市郷土館)
- 4 見学地 20日 北浦東岸の下総層群(堆積構造、化石等)
21日 日立市周辺(カンブリア紀の赤沢層、日立鉱山等)
- 5 参加者 10名, レンタカー使用

概説

今年度は8月20日～21日に茨城県で実施した。5億年前の日本で最も古い地層と10万年前のごく新しい地層を比べながら観察した。荒川先生・田切先生に厚くお礼申し上げます。



清澄フィールドキャンプ (東京大学千葉演習林にて実施)

2014/8/25-31

昼間



夜間



諸般の事情により、まとまった人数でフィールド教育の継承・発展が困難な大学の学生を対象として、地質調査の基礎的な訓練をする場を学会の支部活動の一環として提供。

京都大学理学部地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室の協力で実施。

関東支部からの参加者（6名）

勝浦市 ボラの鼻にて

河村幹事



撮影 伊藤前支部長

富士山巡検

2014/10/3~4

- × 講師: 高田 亮(産総研), 吉本充宏(山梨県富士山科学研究所)
- × 千葉達朗・荒井健一(アジア航測(株))
- × 宝永火口と富士山南山腹の噴出物



宝永火口での集合写真



登山中



夜会

ショートコース

「地すべり破碎帯の構造地質学」(帝京平成大学 中野キャンパス)

2014/10/18



「地すべり」と「断層」はどちらも地表付近の移動現象を扱っており、研究上の共通点も多いと考えられるが、研究者間の交流の場はあまりありませんでした。そこで、「地すべり」と「断層」の破碎帯に関する勉強会を実施し、それぞれの研究分野の交流を図りました。

共催：日本地すべり学会 関東支部
参加者：99名（講師，スタッフ含む）

〈午前の部：断層破碎帯〉



金川 久一先生（千葉大学）
「断層帯の変形構造」



氏家 恒太郎先生（筑波大学）
「東北地方太平洋沖地震調査掘削(JFAST)で明らかになった震源域プレート境界断層の特徴と摩擦特性」

〈午後の部:地すべり破碎帯〉



柴崎達也先生(京都大学防災研究所/国土防災技術)
「地すべり調査におけるすべり面の力学特性の評価手法」
「地すべり面の特徴と最近の研究からわかってきたこと」



眞弓孝之先生(国土防災技術)
「地すべり面の力学特性と間隙水圧挙動」



眞弓先生による地すべり面のサンプルの解説。



懇親会の様子。

伊豆三二巡検

2014/11/8~9

案内者：狩野謙一（静岡大）・伊藤谷生（帝京平成大）・

鈴木雄介（伊豆半島ジオパーク）担当：小田原 啓（神奈川温地研）

参加者：10名

目的：伊豆半島南部の後期中新～鮮新統白浜層群に見られる「浅海域での海底火山活動の実態」を探る

今回見学できなかった地点も含め、
2016年学術大会の巡検コースとして
深化させる予定

入間 千畳敷



中木漁港



夜の勉強会



地学教育サミット「ジオパークと教育」

2015/3/15
2012/3/12

- × 参加人数: 93名
- × コメント: 関東支部第3回目のサミットは、地学教育サミットとして「ジオパークと教育」をテーマに小田原で実施され、93名の参加者を得て盛会であった。

講師:

高橋雅紀(産総研)

高木秀雄(早稲田大)

田切美智雄(日立市郷土館)

茨城県北・天野一男(茨城大)

下仁田・関谷友彦(下仁田ジオパーク推進協議会)

伊豆半島・富川友秀(静岡県立松崎高校)

伊豆大島・中林利郎(伊豆大島ジオパーク推進委員会)

銚子・山田雅仁(銚子ジオパーク推進協議会)

秩父・小幡喜一(埼玉県立熊谷高校)

箱根・山口珠美(箱根ジオミュージアム)



支部会計 2014年度収支報告(1)

一般社団法人 日本地質学会
 2014年度収支計算書 関東支部
 この内雑収入「55,000」

科目	支部合計	支部の管理活動	地質技術伝承講習会	巡検(宝永火口及びその周辺)	地質(教育)サミット
1.事業活動収支					
事業活動収入計	1,537,837		16,337	473,000	210,000
事業活動支出					
事務費支出	1,470,865		9,657	398,677	267,600
旅費交通費支出	1,470,865		8,882	273,296	116,510
通信運搬費支出	0				0
消耗品支出	202,683		775	125,381	43,090
印刷製本費支出	292,874				108,000
施設費支出	50,400		10,400		
賃借料支出	49,400		9,400		
什器備品費支出	1,000		1,000		
保険料支出	39,090			9300	
諸謝金・会費支出	130,000		20,000	40000	
事業費支出計	1,690,355		40,057	447,977	267,600
事務費支出	232,000	232,000			
旅費交通費支出	140,000	140,000			
通信運搬費支出	10,000	10,000			
消耗品支出	82,000	82,000			
印刷製本費支出	0				
施設費支出	10,300	10,300			
賃借料支出	10,300	10,300			
事務局賃借料支	0				
その他賃借料支	10,300	10,300			
事業活動支出計	1,811,480	121,125	40,057	447,977	267,600
事業活動収支	▲ 273,643	▲ 121,125	▲ 23,720	25,023	▲ 57,600
当期収支差額	▲ 273,643				
前期繰越収支差額	0				
次期繰越収支差額	▲ 273,643				

特別会計より
 55,000円の補填あり

支部会計

2014年度収支報告(2)

一般社団法人 日本地質学会
2014年度収支計算書 関東支部

科目	支部合計	ミニ巡検(伊豆半島南 ～西部、白浜層群堆積 時の海底火山活動)	ショートコース(地すべ り破砕帯の構造地質学 講座)	教師巡検(茨城県方面)	清澄フィールドキャンプ (東京大学 千葉演習 林周辺)	緊急討論会「福島第一 原発汚染水制御への 地質学の貢献」
1.事業活動収支						
事業活動収入計	1,537,837	250,000	204,000	95,000	180,000	109,500
事業活動支出						
事務費支出	1,470,865	181,525	162,658	165,074	221,387	64,287
旅費交通費支出	1,470,865	171,459	9,644	150,172	214,145	31,200
通信運搬費支出	0	0				
消耗品支出	202,683	10,066	540	14,902	7,242	687
印刷製本費支出	292,874		152,474			32,400
施設費支出	50,400		40,000			
賃借料支出	49,400		40,000			
什器備品費支出	1,000					
保険料支出	39,090	14,000		6,000	9,790	
諸謝金・会費支出	130,000	20,000	10,000	20,000		20,000
事業費支出計	1,690,355	215,525	212,658	191,074	231,177	84,287
事務費支出	232,000					
旅費交通費支出	140,000					
通信運搬費支出	10,000					
消耗品支出	82,000					
印刷製本費支出	0					
施設費支出	10,300					
賃借料支出	10,300					
事務局賃借料支	0					
その他賃借料支	10,300					
事業活動支出計	1,811,480	215,525	212,658	191,074	231,177	84,287
事業活動収支	▲ 273,643	34,475	▲ 8,658	▲ 96,074	▲ 51,177	25,213
当期収支差額	▲ 273,643					
前期繰越収支差額	0					
次期繰越収支差額	▲ 273,643					

⇒273,643は本部から補填

特別会計 2014年度収支報告2

一般社団法人 日本地質学会 2014年度収支計算書 関東支部

幹事会預かり金(旧関東支部残金) 会計報告 (2014.4~2015.3)

2015/3/31

収 入

項目	金額	備考
繰り越し金 *	2,043,394	
2013年度サミット残金	10,975	2013年度会計締めに遅延のため
計	2,054,369	

支 出

項目	決算	備考
鹿児島大会交通費	37,974	
2014サミット補填費用	55,000	赤字分の半額
計	92,974	

次年度繰り越し	1,961,395
---------	------------------